

事務事業名		伊那谷自然史資料展示公開事業			会計	一般会計					
課等名		美術博物館			事業種別	政策		開始	1	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
		施策	29	ふるさと意識の醸成							
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民 2 学芸員の調査・研究活動			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	1 特別展等の開催を通じて、自然や文化・芸術に対する関心を高め、新たな知識や感動を提供する。 2 調査研究活動の内容を地域に還元する。				圏域住民数(人)			166860		
	向上させたい上位施策の成果指標	1飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	特別展等館主催展覧会の観覧者数(延べ人数)			10000	13592	7000				
	成果指標	企画展(特別展・企画展・特別陳列)の回数(回)			1	1	2				
	定性目標										
事業概要	1 伊那谷の自然に関わる特別展・企画展・特別陳列などの企画展示、及びロビー展示 2 伊那谷の自然に関する調査・研究・資料収集活動の成果を、展示を通して市民へ還元する 3 自然常設展示										
	事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	1 特別展示「大恐竜展ースピノサウルスの謎」 6/23～9/2 2 自然常設展示 3 ロビー展示					1 自然展覧回数 2 図録・リーフレット等の発刊数 3 自然常設展示の更新箇所数 4 ロビー展示			1 1回 2 2種 3 2箇所 4 2回		
	事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
	事業費計(千円)①		0	8,198	7,889	4,025	[24特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%) [25特定財源](国)社会資本整備総合交付金(充当率45%)				
	国庫支出金			3,027	3,249	787					
県支出金											
起債											
一般財源			5,171	4,640	3,238						
人件費計(千円)②		0		5,722							
正規職員所要時間				1,600							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		0	8,198	13,611	4,025						
事業内容・目標達成状況の振り返り	子どもたちに人気の恐竜をテーマにした展示だったため、観覧者数は比較的多く得られた。また常設展示とリンクさせて展示スペースを拡大したり、開館期間中に数多くの親子向け体験教室を行ったことも観覧者増加につながった。										
改革改善の考え方	①問題点	興味を持っていただけるような展示方法の改良が必要である。宣伝方法の改善が必要である。									
	②改革提案	観覧対象を明確にして、その対象世代に合ったパネルデザインや展示解説になるよう心がける。									